

JICA九州は
国際協力事業を通して
SDGs達成への貢献を目指します

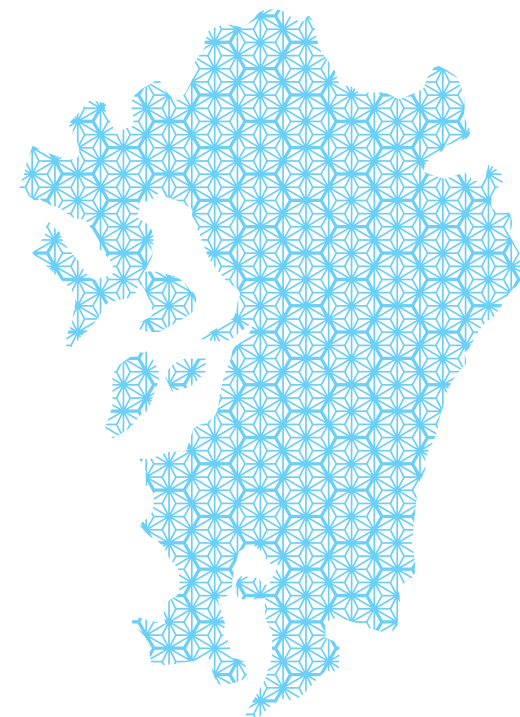
JICA九州
〒805-8505 福岡県北九州市八幡東区平野2-2-1
TEL:093-671-6311(代表) FAX:093-671-0979
<https://www.jica.go.jp/kyushu/index.html>
独立行政法人 国際協力機構九州センター

2020年3月



知ろうよ! SDGs × JICA

地球の未来のために
“じぶんごと”として取り組む17の目標



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

持続可能な開発目標とは？

(SDGs エスディーゼズ)

Sustainable Development Goals

Sustainable

「持続可能」って？

「将来に向けて〇〇し続けることができる」ということ

Development

「開発」って？

「よりよい未来をつくる」こと

SDGsは2030年までに貧困を撲滅し、持続可能な社会を実現するための目標です。2015年9月に国連本部で193の加盟国によって全会一致で採択されました。

「誰一人取り残さないー No one will be left behind」

を理念として、持続可能な社会を実現するために、2030年までに全世界が取り組む

17の目標(ゴール)と **169**のターゲットが書かれています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



MDGsからSDGsへ

2000年に採択され2015年までを達成期限とした「ミレニアム開発目標」(Millennium Development Goals:MDGs)は、極度の貧困と飢餓の撲滅など、開発途上国が抱える課題を解決するため8つの目標を掲げ、一定の成果を上げました。一方その後継となるSDGsは、持続可能な世界をつくるために、先進国を含む全世界の国が「じぶんごと」として取り組む17の目標を掲げています。

MDGsは現状を出発点として目標を設定し、行動したのに対し、SDGsでは「あるべき未来像」を実現するために今やるべきことを考え、行動するという「バックキャスト思考」に基づいています。

バックキャスト

「よりよい未来像」(あるべき姿)を起点にして、今何をすべきかを考える。

将来

現在

フォアキャスト

現状(現在の課題)を起点にして将来の目標を考える。

SDGsはゴール同士が互いに関連

17の目標は相互につながりあっています。貧困と環境破壊など一見別々の課題のように見えますが、実際は複雑に関連し合っています。異常気象が農業や漁業に大きな影響を与え、食料不足を引き起こします。十分な教育を受けられず、貧困から抜け出せません。そして終わらない紛争が、これまで築いてきたものを破壊し、負の連鎖を生んでいます。

1つの課題に取り組むことが、多くの課題の解決につながっています。

「経済」、「社会」、「環境」の視点から考える

このようにそれぞれの課題に取り組む際、その課題のみの解決を目指すのではなく、いくつかの視点から広く考えることが大切です。SDGsは「経済」、「社会」、「環境」の3つの視点をあげています。



なぜ私たちがSDGsに 取り組む必要があるのでしょうか？

1. 個人や企業が環境や人権を考慮せずに、利益を追求する行動を自由にとった場合、環境破壊や社会の不安定化が進み、私たちが将来地球で暮らすことができなくなってしまうためです。

●個人や企業が利益のみを追求する行動を続けた場合、環境破壊や自然災害が深刻化し、将来地球で暮らすことができなくなってしまう。

●「プラネタリー・バウンダリー(※)」という概念では、「生物種の絶滅の速度」や「生物地球科学的循環」などにおいて、地球が限界点に達していると言われています。

※地球上で人類が安全に活動できる範囲を科学的に定義し、定量化したものの



●人権の侵害等により生じる社会不満は、社会の不安定化、テロ、紛争等を招き、私たちの暮らしを脅かします。

2. 個人や企業の機会・可能性を広げ
きっかけになるためです。

●SDGsに対する個人・企業の関心も高まっているため、SDGsを意識した行動は新事業開発や既存事業の拡大につながります。



●SDGsは多様な利害関係者間の共通目標となっているため、SDGsに取り組むことが個人・企業との新しい関係構築につながります。



SDGsとは開発途上国の 問題を解決すること？

SDGsは開発途上国の問題のみを解決する目標ではありません。

「地球上の誰一人として取り残さない」を理念に「地球上のみんなの幸せ」を目指すものです。

SDGsに掲げられているのは、**開発途上国だけでなく先進国も取り組まなければならない**

共通の課題です。実は日本でもまだ達成できていない課題が複数あり、

まさに開発途上国と先進国が一丸となって取り組むべき課題と言えます。

日本のSDGs取り組み状況

日本のSDGsの目標達成度は **世界156か国中15位**です。(2018年現在)

●1位から10位の国々

1位: スウェーデン	6位: ノルウェー
2位: デンマーク	7位: スイス
3位: フィンランド	8位: スロベニア
4位: ドイツ	9位: オーストリア
5位: フランス	10位: アイスランド

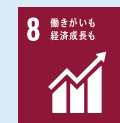
●その他の国々

14位: イギリス	63位: ロシア
35位: アメリカ	99位: インドネシア
54位: 中国	107位: 南アフリカ
56位: ブラジル	119位: ケニア
57位: ベトナム	156位: 中央アフリカ

特に以下の目標の達成度は他の国々よりも良好です。



●初等教育就学率
98.8%
●大学教育を受けた人の割合が高い(50.5%)



●若年層におけるニート*の割合が低い(9.8%)



●研究・開発に従事する人の割合が1,000人中10人と高い

*ニート: 職業についておらず、教育や訓練も受けていない人

しかし、次の目標は達成度が非常に低くなっています。



●国会における女性議員の割合が低い
●男女の賃金格差が大きい



●不要となった携帯電話などの電子ゴミの発生量が多い



●発電による二酸化炭素の排出量が多い



●海の汚染の改善が遅れている
●水産資源に影響するトロール漁業の割合が高い



●財政状況の悪さが目標達成に影響している

SDGs 達成に向けて 私たちができること



SDGsの達成のために私たちができることは何でしょうか。「持続可能な開発目標(SDGs)」は壮大な目標で、自分が関わることなんてできないと思うかもしれません。

しかし、実は私たちの日常生活にもSDGsの達成に向けて簡単に実践できることがたくさんあります。

SDGsの達成を左右するのは国や企業だけではなく、私たちひとりひとりの日々の心がけと行動の積み重ねなのです。



右のページには私たちが日々の中で実践できる具体例を記載しています。

より詳しく知りたい方は、
国際連合広報センター

「持続可能な社会のために
ナマケモノにもできる
アクション・ガイド」

も見て下さい。



■「持続可能な社会のために
ナマケモノにもできるアクション・ガイド」
https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/24082/

家の中

家でできるSDGs



水を大切にしよう

- ・食器を洗う前に皿や銅の汚れを不要な布でふき取ってから洗いましょう。洗剤は少量で。
- ・調理くずや食べ残しが流れないように、水切り袋を使いましょう。



生活廃水を利用しよう

- ・お米のとぎ汁は植木の水やりに利用しましょう。
- ・お風呂の残り湯は洗濯に利用しましょう。



地元のものを使おう

- ・地元野菜を食べましょう。適正な価格を付けられ、生産者が農業を続けられます。



- ・近所のお店を利用しましょう。遠くから運ぶことが減れば環境に影響を与える排気ガスも削減できます。



子どもに教えよう

- ・女性や女兒への差別、暴力を排除するために子どもに女性の権利や現状について教えましょう。子どもが夢を持つことができます。

家の外

家でできるSDGs



ごみを減らそう

- ・エコバッグを持って買い物に出ましょう。ビニール袋は断わりましょう。
- ・古着や不用品をリサイクル、寄付しましょう。製造量も減少してエネルギーを節約できます。



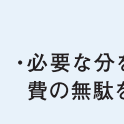
必要な分の食料を買おう

- ・すぐ使う時は消費期限が近いものを買うと廃棄量を減らすことができます。
- ・必要な分を使い切ることで食糧と資源の消費の無駄を防ぐことができます。



フェアトレード製品を買おう

- ・フェアトレードは開発途上国の原料や製品を適正な価格で買うことで立場の弱い生産者や労働者の生活改善と自立を目指しています。フェアトレードラベルのものを買うことで応援できます。



SDGsについて 友達や家族に話してみよう

- ・私たち自身の小さな選択がSDGs達成に影響しています。国、企業、自治体、個人がそれぞれの立場で行動し、貢献することがSDGs達成に繋がります。

1 貧困をなくそう



世界中の、あらゆる形の貧困を終わらせます。



写真提供: 谷本美加/JICA

1日1.9ドル未満で暮らす人の数は

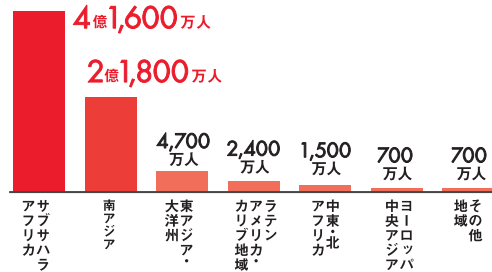
7億3,400万人

地球上の10人に1人が国際貧困ライン以下の生活をしている状況です。

(出典: World Bank PovcalNet)

1日1.9ドル未満の人口

(出典: World Bank PovcalNet)



2 飢餓をゼロに



飢餓 (長い間食べられず、栄養不足になること) をなくし、全ての人が食料を安定して得られ、栄養状態が良くなるようにします。そのために、持続可能な農業を進めます。

写真提供: 鈴木華/JICA

5歳未満児のうち

約1億5,000万人

が慢性的な栄養不良。

これは世界の5歳未満児のうち

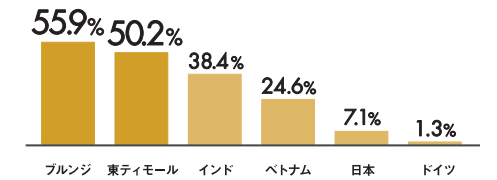
5人に1人(約22%)が慢性的な栄養不良という状況です。

(出典: Global Nutrition Report 2018)



5歳未満児のうち慢性的な栄養不良の割合

(出典: World Bank Prevalence of stunting, height for age (% of children under 5))



世界の国々が合意したこと

- 子どもやお母さん、お年寄りを含むみんなが、安全で栄養のある食料を1年中手に入れられるようにします。
 - 農業の生産性を増やして、小規模農家の収入を増やします。 ※ 農業は環境を壊さないようにして、それぞれの地域の生物多様性や資源を守るように気をつけます (持続可能な農業)。
- ※生物多様性: たくさんの種類の生き物が複雑に関わり合い、様々な環境に合わせて生きていること

あらゆる形の貧困を終わらせるために必要なこと

● 「貧困」には、お金がないだけでなく、右記のようなことも含まれます。このため、他のSDGs目標と一緒に取り組むことが大切です。



JICA九州の取り組み

青年海外協力隊 西宮奈緒美さん

平成21年度2次隊 ガーナ共和国派遣
職種: コミュニティ開発 福岡県出身

私は「コミュニティ開発」という職種で、サバンナにある村人たちが作っていたバスケットを質の高いかごバッグに製品化し、フランスや日本に輸出するための協力を行いました。



女性グループを対象に、品質向上のためのワークショップを開催

JICA九州の取り組み

青年海外協力隊 赤司周平さん

平成27年度2次隊 ベナン国派遣
職種: 食用作物・稲作栽培 福岡県出身

ベナンの主食は主にトウモロコシとイモ類で、稲作農家はほとんどいませんでした。私は「稲作栽培」隊員として稲作経験のない農家を対象に稲作栽培指導を行いました。



現地(ベナン)の種まき方法、野菜の種類を確認しているところ

3 すべての人に
健康と福祉を



写真提供: 今村健志朗/JICA

あらゆる年齢の
すべての人が、
健康で安心して
満足に暮らせるようにします。

一年に**540万人**が
5歳までに命を失っています。

また、開発途上国で
必要な医療を受けられる女性は
全体の約半数にすぎません。



(出典: The Sustainable Development Goals Report 2019, UN)

5歳未満児死亡率 (1,000人対) (出典: World Health Statistics 2019)

1位	ソマリア	127人
2位	チャド	123人
3位	中央アフリカ	122人
4位	シエラレオネ	111人
5位	マリ	106人
	日本	3人

世界の国々が合意したこと

- 出産時に亡くなってしまってお母さんの数を減らします。
- 赤ちゃんや5歳未満の子どもが、防ぐことのできる病気で亡くなることのないようにします。
- HIV/エイズなどの感染症や、コレラなどの水によって感染する病気の流行を終わらせます。
- 全ての人々が、質の高い医療を受けられるようにし、薬やワクチンを得られるようにします。

JICA九州の取り組み

草の根技術協力事業(パートナー型)

マラウイ母子の「最初の1000日」に配慮した
コミュニティ栄養改善プロジェクト
実施団体: 社会医療法人雪の聖母会 / 対象国: マラウイ

子どもの発育においては、母親の妊娠から子が2歳になるまでの「最初の1000日」における栄養状況が重要です。住民への栄養改善に関する知識の普及と家庭における食糧確保を支援しています。



スタッフから説明を受けているところ

4 質の高い教育を
みんなに



写真提供: 今村健志朗/JICA

誰もが平等に質の高い
教育を受けられるようにし、
生涯にわたって
学習できるようにします。

文字の読み書きが
できない人が



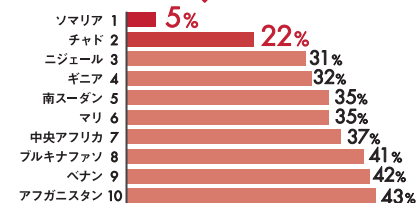
約**7億5,000万人**

そのうち、**3人に2人**が女性です。

(出典: Literacy Rates Continue to Rise from One Generation to the Next(UNESCO 2017))

成人識字率(15歳以上)の低い国

(出典: World Bank, Literacy rate, adult total (% of people ages 15 and above))



世界の国々が合意したこと

安全で通いやすい学校を整え、資格のある先生の数を増やす、といった行動により、

- すべての子どもが男女の区別なく、質の高い初等教育と中等教育を終えることができるようになります。
- すべての人々が男女の区別なく、質の高い技術教育、職業教育を受けられるようになります。
- すべての若者及び多くの成人が、読み書き能力及び計算能力を身につけられるようになります。

JICA九州の取り組み

中小企業・SDGsビジネス支援事業

教育の質向上のための
eラーニングシステム導入に係る普及・実証事業
実施法人: 株式会社教育情報サービス / 対象国: ケニア

当社が開発した「ThinkBoard」を活用し、ジョモ・ケニヤッタ農工大学と連携して、現地に適合するeラーニングシステムを構築し、教員不足による教育の質の低下の解決を目指しています。



ジョモ・ケニヤッタ農工大学教員への
ThinkBoard講習会(ケニア)

5 ジェンダー平等を実現しよう



写真提供: 沼田早苗/JICA

すべての人が性を理由に差別されないジェンダー平等の社会にし、すべての女性と女の子のエンパワーメントを図ります。
(力をつけること)

6 安全な水とトイレを世界中に



写真提供: 久野真一/JICA

すべての人が、安全な水と衛生的な環境を得られるようにします。



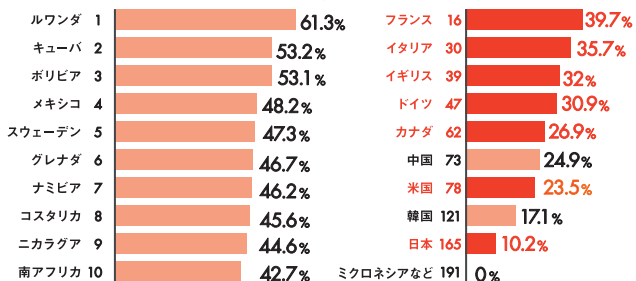
日本の働く女性の賃金(平均)は

男性を **24%** 下回っています。
(先進国でワースト2位)
(出典:OECD)



各国国会(下院)の女性議員比率 (2019年)

(出典: Inter-Parliamentary Union)



赤字は主要7カ国(G7)

世界の国々が合意したこと

- 女性と女の子に対するあらゆる差別を、世界のどの場所においてもなくします。
- 女性や女の子を身体的・精神的・性的に傷つけるような行為や慣習がおこなわれないようにします。
- 女性や女の子が平等に教育を受けられるようにします。
- 女性が雇用や給与、家事分担、土地や財産の取得、政治への参加などで差別されないようにします。

JICA九州の取り組み

課題別研修 行政官のためのジェンダー主流化政策
研修委託機関: 公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

ジェンダー平等を推進する各国の行政官が、日本における、男女共同参画制度や、暴力・健康・教育・メディアなど各分野の取組事例を学び、自国のジェンダー主流化を促進するための方法や政策を検討します。



ジェンダー課題や解決策を分析する研修員

安全で管理された飲料水にアクセス

できない人は、**全世界の29%** (約21億人)
とされています(2015)。

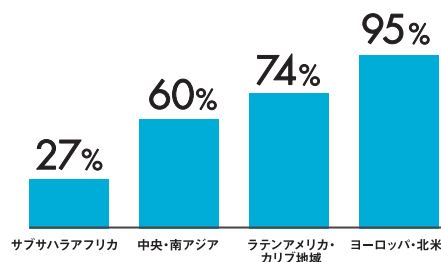
安全で管理された衛生施設(トイレ)にアクセス

できない人は、**全世界の61%** (約45億人)
とされています(2015)。

(出典: WHO/UNICEF Joint Monitoring Programme 2017)

安全で管理された水にアクセスできる割合

(出典: UN Water Indicator 6.1.1 - Drinking water)



世界の国々が合意したこと

- すべての人が、水道や井戸などで安全な水を使えるようにします。
- すべての人が、トイレや下水処理、ごみ処理などの衛生設備が整った環境で暮らせるようにします。

JICA九州の取り組み

草の根技術協力事業(地域活性化特別枠)

マンダレー市における安全で安定した水供給能力向上支援プロジェクト
実施団体: 北九州市上下水道局 / 対象国: ミャンマー

マンダレー市では、急速な都市化に伴う水需要の拡大が大きな課題です。北九州市上下水道局は安定した水供給を目指し、「緩速ろ過」方式から「急速ろ過」方式浄水場の運転・維持管理の技術指導を行っています。



浄水場での指導の様子

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



写真提供: 久野武志/JICA

すべての人に
手頃な価格で信頼でき、
持続可能で近代的な
エネルギーへのアクセスを
確保します。

10億人近い人々は
電気を使うことが
できません。

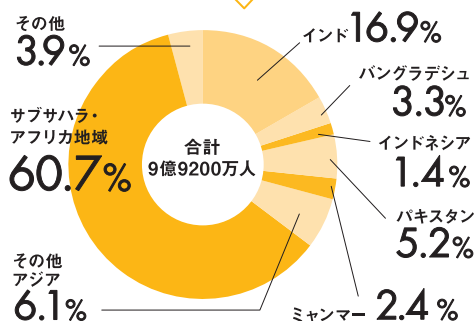
その多くは、サブサハラ・アフリカや
南アジア地域の国々で、
特に都市と地方のインフラ格差が、
課題になっています。



(注) サブサハラ・アフリカ: アフリカのうち、サハラ砂漠より南の地域

世界の地域別 未電化人口 (2017年)

(出典: IEA [World Energy Outlook 2018])



世界の国々が合意したこと

- 2030年までに、**安価かつ信頼できる現代的エネルギー**サービスへの普遍的アクセスを確保する。
- 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける**再生可能エネルギー**の割合を大幅に拡大させる。
- 2030年までに、世界全体の**エネルギー効率**の改善率を倍増させる。

JICA九州の取り組み

課題別研修

再生可能エネルギー導入計画 - 太陽光発電を例として

研修委託機関: 公益財団法人北九州国際技術協力協会

2030年までにクリーンで経済的なエネルギーをすべての人々に届けるには、再生可能エネルギーの利用は不可欠です。各国で再生可能エネルギーの普及が進むよう、太陽光発電、風力発電などの最新技術を指導しています。



ひびき灘風力発電所への視察にて

8 働きがいも
経済成長も



写真提供: 久野真一/JICA

環境を悪化させないように
経済成長を進めながら、
すべての人が
ディーセント・ワーク (働きがいのある
人間らしい仕事)
をできるようにします。

2018年の
世界の失業者は

1億7,200万人。

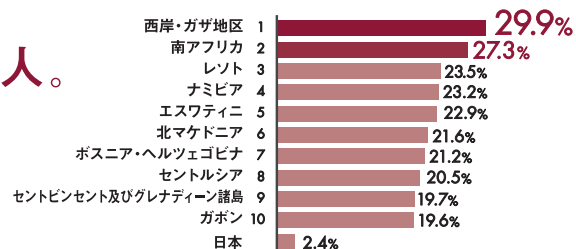
その多くが
若者です。



(出典: WORLD EMPLOYMENT SOCIAL OUTLOOK,
TRENDS 2019, International Labour Organization)

世界で失業率の高い国々 (2019年)

(出典: World Bank, Unemployment, total (% of total labor force) (modeled ILO estimate))



世界の国々が合意したこと

- すべての人が、安全でやりがいのある仕事を得て、
貧困から抜け出せるようにします。
- 物を作ったり、商品やサービスを買ったりする経済活動において、
天然資源を大切にし、守ります。
- 訓練を受けられる機会を増やすことで、仕事がない若者の数を減らします。
- 低い賃金と悪い労働環境で働かされる「**児童労働**」をなくしていきます。

JICA九州の取り組み

課題別研修

品質管理・生産性向上 (日本のものづくり)

研修委託機関: 公益財団法人北九州国際技術協力協会

途上国における製造業の生産性を向上させるために、日本の品質管理・生産性向上の普及により、総合的な生産体制を整備する指導者を育成します。



渦巻ポンプの点検の仕方を学習する研修員



写真提供:高橋智史/JICA

災害に強い
インフラを整備し、
技術研究を支援して、
産業の発展や起業を
促していきます。

不十分な基礎インフラが、
産業の発展や
雇用の増加を
妨げています。



基礎インフラって何？

道路、上下水道、通信、電力設備、鉄道などの
公共設備です。

なぜ必要？

都市の整備や産業の発展に必要です。
産業の発展は雇用の増加につながります。

技術革新を通じてどんな産業が
期待されている？

広く公平で誰でも参入できる産業
資源を効率的に使い、地球環境に優しい産業

世界の国々が合意したこと

- 持続可能で災害に強いインフラを整備し、
経済成長と人々の暮らしを支援します。
- 資金の提供や技術支援などで、小規模ビジネスを育てていきます。
- それぞれの国に必要とされる技術の研究を支援し、技術革新をめざします。

JICA九州の取り組み

中小企業・SDGsビジネス支援事業

洪水対策に資する浸透性インターロッキングブロック
(ILB) 舗装の普及・実証事業

実施法人:大村セラテック株式会社 / 対象国:カンボジア

カンボジアの首都等において「透水性インターロッキングブロック (ILB) 舗装」と「道路排水側溝」を一体化した舗装技術により、雨季の集中豪雨による道路の水没や洪水を防ぎ、災害に強いインフラ構築を目指しています。



ILB舗装技術により整備された
シェムリアップ州パブストリート



写真提供:久野武志/JICA

国と国の間にある
不平等や、
国の中での不平等を
減らします。

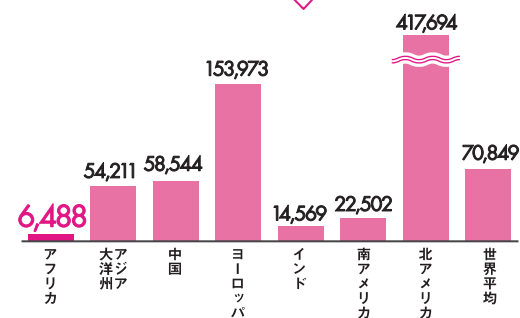


世界人口の

1%の富裕層が
世界の富の半分以上を
保持しています。

2019年 地域別
成人1人当りの資産額 (単位:USドル)

(出典:Credit Suisse, The Global Wealth report)



世界の国々が合意したこと

- 特定のグループを差別するような法律や習慣をなくします。
- 弱い立場にある人を守る法律や政策を取り入れます。
- 国内の所得の低い人々の所得を増大させ所得格差を改善します。

JICA九州の取り組み

シニア海外ボランティア 黒岩春地さん

平成28年度2次隊 セントルシア国派遣

職種:コミュニティ開発 佐賀県出身

セントルシアには、人口18万人の国に、全盲の方が2千人もいます。彼らが自立して生きていけるよう、目の不自由な子供たちと作ったノートを買って、視覚障害者のための「指圧研修センター」を立ち上げる計画を進めています。



特別支援学校の生徒たちと楽しく記念写真

11 住み続けられる
まちづくりを



写真提供:久野真一/JICA

都市を、誰もが受け入れられ、
安全で災害に強く、
ずっと住み続けられる
場所にします。

2050年には

都市人口が **67億人**

世界人口の **3分の2** に達します。

(出典: Our World in Data)

2050年には世界の都市人口が
68%に達すると予測されています。



世界の国々が合意したこと

- すべての人が安全で住みやすい家や、水・電気などの必要なサービスを得られるようにします。
- 住民のまちづくりへの参加を確保し、子どもや女性、障害者、高齢者にとっても安全で生活しやすいまちにします。
- 災害に強いまちにします。
- 大気汚染を防ぎ、ゴミを管理して、都市の環境を改善します。

JICA九州の取り組み

課題別研修 消防・防災

研修委託機関:北九州市消防局

途上国では、人口増加・都市化の進展により火災が増加しており、気候変動等による自然災害の被害も甚大化しています。本研修は、消火・救助技術の実技習得に加え、防災啓発活動の習得を目的に実施しています。



消火活動訓練の様子

12 つくる責任
つかう責任



写真提供:今村健志朗/JICA

生産と消費を、
持続可能な方法で
行っていきます。



毎年世界で
生産される食料の

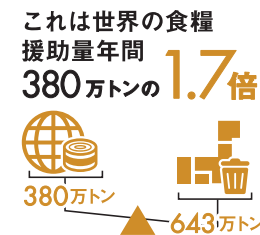
3分の1

が消費されずに
捨てられています。

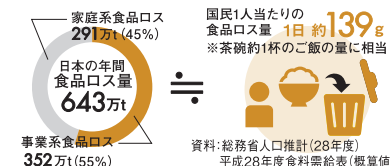
日本の年間食品廃棄物2,759万トン。

そのうちまだ食べられるのに

廃棄される食品=食品ロス 2016年度 **643万トン**



国民1人当たり お茶碗1杯分の
食べ物を毎日捨てている計算。



世界の国々が合意したこと

- 一人当たりの捨てられる食べ物の量を世界全体で半分に減らします。そのために人と企業が一緒に取り組みます。
- 空気や水、土を汚さずに、有害な化学物質がきちんと管理されるようにします。
- 3R(リデュース:ごみの量を減らすこと、リユース:一度使って捨てるのではなく何回か使うこと、リサイクル:使ったものをもう一度資源に生まれ変わらせること)をとおして、廃棄物(ゴミ)を減らします。

JICA九州の取り組み

草の根技術協力事業(地域活性化特別枠)

ダバオ市における廃棄物向上支援プロジェクト
実施団体:公益財団法人北九州市環境整備協会
対象国:フィリピン

ダバオ市の廃棄物管理体制を強化することを目的として、廃棄物の減量やゴミの分別を通じた資源化物のリサイクル推進に取り組んでいます。



分別された資源化物

13 気候変動に
具体的な対策を



写真提供: 谷本美加/JICA

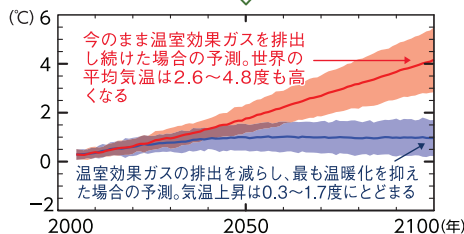
気候変動や、
それによる影響を
止めるために、
すぐに行動を起こします。

気温の上昇により、2019年までの30年間に **温暖化の予測** (出典:IPCC[CLIMATE CHANGE 2013])

約**270**万km²の
北極の氷が減少しました。

(日本の面積の約7倍に相当。)

(出典:NASA GLOBAL CLIMATE CHANGE)



気候変動の原因

- 人間の活動による二酸化炭素などの温室効果ガスの排出。
- 二酸化炭素を吸収する森林の破壊。

気候変動によって引き起こしている影響

- ゲリラ豪雨、台風の規模拡大、干ばつ・山火事などの深刻化
- サンゴの死滅、食料生産・漁獲量の減少、マラリア等感染症の拡大

世界の国々が合意したこと

- 化石燃料の使用を減らし、温暖化を抑えます。
*2015年に、温室効果ガスの排出量削減をめざすパリ協定が合意されました。

JICA九州の取り組み

課題別研修 地熱資源エンジニア

研修委託機関: 九州大学

再生可能エネルギーの中でも、地熱発電は出力が安定しており、日本が技術的に世界をリードしています。本研修では若手技術者が、各国のリーダーとして活躍することを目指しています。



小松地獄を訪問

14 海の豊かさを
守ろう



写真提供: 今村健志朗/JICA

きれいな海と、
魚などの海の資源を保全し、
持続可能な方法で
利用します。

2050年には
海洋プラスチックごみの量が
魚の量を上回ると
予想されています。

(出典:World Economic Forum(2016)New Plastics Economy:
Rethinking the future of Plastics)



写真提供: 今村健志朗/JICA

世界の国々が合意したこと

- プラスチックごみなどの、人間の活動による海の汚染を減らします。
- 違法な漁業や魚のとりすぎを取り締まり、海の資源を保全します。
- 海の生態系(*)を守ります。
*生態系:生き物と、それらが暮らす環境がバランスよく成り立っている仕組み。
- 貧しい国や小さい島国に対して、海の資源をきちんと保護・管理できるよう支援します。

JICA九州の取り組み

課題別研修 資源管理型漁業の推進

研修委託機関: 鹿児島大学水産学部

世界中で水産資源の減少が問題となっています。本研修では、日本の優良事例から、漁民組織の強化を通じた資源や環境に配慮した水産業への取り組みについて学んでいます。



鹿児島県内で漁業者の漁船に同乗し、
漁具について質問をする研修員

15 陸の豊かさも
守ろう



森林を守り、再生し、
持続可能な方法で利用します。
生物多様性(*)が
失われることを防ぎます。

*生物多様性: たくさんの種類の生き物が様々な環境に合わせて生きていること



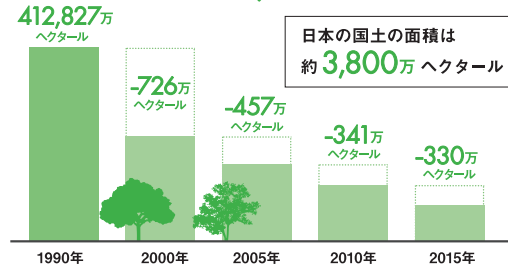
写真提供: 今村健志朗/JICA

世界では毎年、
日本の面積の

14%に相当する
森林が失われて
います。

地球上で失われた森林

(出典: 世界森林資源評価2015)



世界の国々が合意したこと

- 森林破壊を減らし、森林を再生して、砂漠がこれ以上増えないようにします。
- 森林をきちんと管理し、持続可能な方法で利用します。
- 陸の生態系(*)を守ります。
*生態系: 生き物と、それらが暮らす環境がバランスよく成り立っている仕組み
- 絶滅の危機にある生き物を保護し、生物多様性が失われることを防ぎます。

JICA九州の取り組み

中小企業・SDGsビジネス支援事業

環境配慮型石けん系泡消火剤を用いた森林・泥炭地火災の
消火技術の普及・実証事業
実施法人: シャボン玉石けん株式会社 / 対象国: インドネシア

環境に優しい「石けん系泡消火剤」を用いて、森林
火災の消火や森林減少の防止を目指す実証事業
を行っています。



石けん系泡消火剤による消火

16 平和と公正を
すべての人に



ぎゃくたい
暴力や虐待のない
平和な社会、
誰もが法によって守られる
社会をつくりまします。



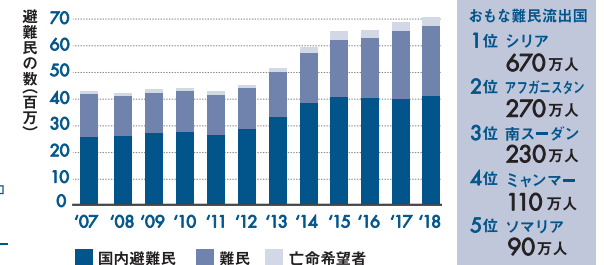
写真提供: 久野真一/JICA

紛争や迫害から逃れた
難民や避難民は

7,000万人
を超えました。



増え続ける難民と国内避難民



(出典: GLOBAL TRENDS FORCED DISPLACEMENT IN 2018)

世界の国々が合意したこと

- 紛争やテロリズムを防ぎ、暴力や、暴力による死をなくします。
- 虐待、搾取、人身取引(*)など、子どもに対するあらゆる形の暴力をなくします。
*虐待: 暴力をふるったり、必要な世話をしなかったり、ひどい言葉を浴びせつけたりすること。
*搾取: 労働に対するお金をきちんと払わずに働かせること。
*人身取引: 人間を売ったり買ったりすること。
- 全ての人々が、国内でも海外でも、平等に司法を利用でき、
法によって守られるようになります。

JICA九州の取り組み

長期研修 シリア平和への架け橋・人材育成プログラム

シリア危機により就学機会を奪われたシリア人難民を留学生と
して受け入れています。ヨルダン、レバノンに難民として逃れている
若者を対象に、最大100名の留学生を受け入れる予定です。



余暇を利用し子供たちと交流(鹿児島にて)

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



SDGs達成のため、
各国の政府、市民、民間企業、
民間団体、教育・研究者を含む
全員が“One Team”で
結束します。



写真提供:久野真一/JICA

持続可能な
開発目標(SDGs)は
私たち全員に
関係があります。



目標1から目標16までを達成するために、世界の国々が合意したこと

- 2030年までに、すべての国が目標を達成できるように助け合います。
- それぞれの国が、国内の政策の中に「SDGs達成」を盛り込み、国の予算を使うようにします。
- 国と国の間だけでなく、企業、大学、市民、NGOなど色々なレベルでの協力を進めます。

JICA九州の取り組み

SDGsセミナー in 九州

SDGsセミナーを開催し、民間企業、自治体、大学・研究機関、市民社会、金融機関等の多様な関係者間がSDGsを契機としたパートナーシップを強化し、共に地域が抱える課題解決に取り組むことを推進しています。



SDGsパネルを持って参加者で集合写真

5つのP

17の目標は

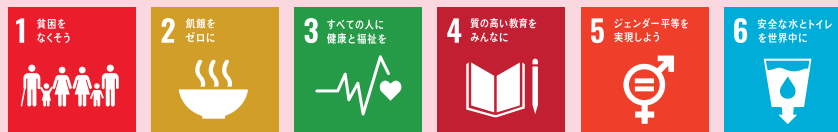
「People 人間」「Prosperity 繁栄」「Planet 地球」

「Peace 平和」「Partnership 連携」の5つの目的

に整理することができます。

この5つはSDGsの17の目標を理解する際の重要な要素です。

People 人間 すべての人に焦点を当てる



Prosperity 繁栄 豊かな生活を確保する



Planet 地球

地球を守る



Peace 平和

平和と公正をすべての人に
平和で公正な
社会を育む



Partnership 連携

あらゆる関係者と
連携する



JICAとSDGs

JICAは、2000年から15年間にわたり国際社会が力を入れて取り組んできたミレニアム開発目標（MDGs）において、途上国の貧困に苦しむ人口の削減、乳幼児死亡率の削減、水や衛生施設の提供など大きな成果を上げてきました。

これらの知見・経験、そして60年に及ぶ開発協力の経験とネットワークを生かし、2015年9月に国連が採択した持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けても、以下の**3本の柱**を中心に取り組んでいきます。

1. JICAは、国際社会の平和、安定、繁栄を目指し、人間の安全保障と質の高い成長を実現します。SDGsは、この理念を加速、推進するものであり、JICAはリーダーシップを発揮し、ゴールの達成に積極的に取り組みます。
2. JICAは、我が国自身と開発協力の経験を活かし、SDGsの**17のゴール**のうち、特に**10のゴール**について中心的役割を果たします。



3. JICAは、SDGs達成を加速するため、国内の知見の活用、国内外のパートナーとの連携、イノベーションを図り、SDGs達成に向けてインパクトを確保します。

SDGs達成に向けたJICAの取り組み

食料増産 1.9倍

人口増加に伴い、コメの消費量が急増しているアフリカ。JICAでは日本の稲作技術を生かし、サブサハラ・アフリカにおけるコメの生産量を1.9倍に拡大させました。

※基準値(1,400万トン)と2016年(2,611万トン)の比較



写真提供:飯塚明夫/JICA

母子手帳 29カ国・地域 1,000万冊

戦後日本で作られた母子手帳は、1990年代以降、各国の実情に見合った形に改良され、29カ国・地域および日本での推計年間発行数(2018年8月現在)は約1,000万冊。母子の健康の記録として活用されています。



写真提供:今村健志朗/JICA

学びの改善 1,500万人以上

JICAの支援を通じ、学びの改善に向けた質の高い教育環境を提供された子どもの数は2015～2017年度の合計で1,500万人以上に上ります。



写真提供:渋谷敦志/JICA

安全な水へのアクセス 7,100万人

給水施設整備支援による給水人口(2000～2017年)。安全な水を持続的に供給するために、水道や井戸の整備、行政能力や利用者組合設立など、ハードとソフト両面の支援が行われています。



写真提供:今村健志朗/JICA

防災 9割以上

2015年のネパール地震で被災した住宅のうち、耐震基準を満たし、再建・着工された住宅は9割を超えました。

※JICAの支援対象世帯(56,516)を基準とする2018年7月現在の状況(51,230世帯、90.6%)



写真提供:今村健志朗/JICA

海外協力隊 51,254人

(2019年3月31日現在)

海外協力隊の累計派遣人数(1965～2018年度)は5万人超。JICAでは、開発途上国のために役立ちたいと望む人を、海外協力隊として世界各地に派遣しています。



写真提供:久野真一/JICA

出典:「JICA 2017 ANNUAL REPORT」から一部抜粋・再編集

JICA九州の取り組み とSDGs（事業案内）

1. 研修員受入

九州の「知」と「技」を世界へ。

アフリカ、アジア、中南米など約100ヶ国の国づくりを担う方々に、環境、保健、教育、農業、産業など九州が有する知見・技術を伝えています。1989年～2018年度末までにのべ約20,000名を受け入れました。



2. 草の根技術協力

海外で生きる、九州の経験

九州の自治体や大学、NGOの知識、経験を活かした途上国への支援事業の形成・実施を支援しています。これらの事業は主に途上国における生活改善・生計向上などに貢献しています。



3. 中小企業 / SDGsビジネス支援

九州の地元企業の海外展開を

九州の企業の海外展開を通じて、企業が有する製品・技術による途上国の課題解決を目指しています。個別相談から実証・普及に向けた調査まで幅広いメニューで海外展開を支援しています。



4. ボランティア派遣

九州のひとの想いと力が世界を変える

途上国の課題解決に共に取り組むために必要な知識、経験を有する人材をJICA海外協力隊として、九州から累計で98ヶ国、約6,500名派遣してきました。JICA九州では主に協力隊の募集活動や、帰国後の進路支援を行っています。



5. 開発教育支援

世界の「いま」を見る・知る・学ぶ

出前講座やセンター訪問、研修員の学校訪問などを実施しています。途上国の現状やボランティアの活動内容などを児童、生徒、学生たちに伝えています。年間約1,460名以上がJICA九州を訪問しています。また、高校生実体験プログラム、教師海外研修や開発教育指導者研修等の研修プログラムも実施しています。



地域に根差したJICA九州を目指して ～地域清掃活動をおこなっています～

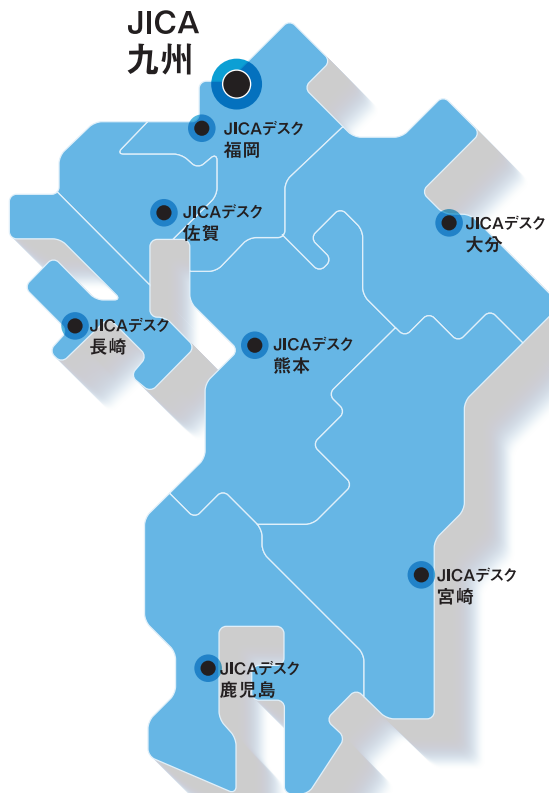
JICA九州では、JICA研修員や地域の有志の方と共にセンター周辺の清掃活動を行っています。

「世界で役立つ九州が役立つ!」をモットーに地域に開かれたセンターを目指します!



お近くのJICA窓口

JICA国際協力推進員は、地方自治体の国際交流機関を活動拠点に身近なJICA窓口として活動しているほか、異文化理解や国際協力に関するイベントなどを行っています。お気軽にご連絡下さい。



● JICA九州

独立行政法人 国際協力機構
九州センター

〒805-8505 福岡県北九州市
八幡東区平野2-2-1
TEL : 093 (671) 6311
FAX : 093 (671) 0979

<http://www.jica.go.jp/kyushu/>



- JICAデスク福岡
(公財)福岡よかトピア国際交流財団
〒812-0025
福岡市博多区店屋町4-1 福岡市国際会館1F
TEL:092-262-1714
FAX:092-262-2700
- JICAデスク佐賀
(公財)佐賀県国際交流協会
〒840-0826
佐賀市白山2-1-12 佐賀商工ビル1階
TEL:0952-25-7921
FAX:0952-26-2055
- JICAデスク長崎
(公財)長崎県国際交流協会
〒850-0862
長崎市出島町2-11 出島交流会館1階
TEL:095-823-3931
FAX:095-822-1551
- JICAデスク熊本
(一財)熊本市国際交流振興事業団
〒860-0806
熊本市中央区花畑町4-18 熊本市国際交流会館内
TEL:096-359-2130
FAX:096-359-2130
- JICAデスク大分
(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
〒870-0029
大分市高砂町2-33
iichiko総合文化センター地下1階 国際交流プラザ内
TEL:097-533-4021
FAX:097-533-4052
- JICAデスク宮崎
(公財)宮崎県国際交流協会
〒880-0805
宮崎市橋通東4-8-1 カリーノ宮崎地下1F
TEL:0985-32-8457
FAX:0985-32-8512
- JICAデスク鹿児島
(公財)鹿児島県国際交流協会
〒892-0816
鹿児島市山下町14-50 かごしま県民交流センター1階
TEL:099-221-6624
FAX:099-221-6643

お役立ちサイト

JICAホームページにSDGs達成に向けた様々なJICAの取り組みを紹介しています。

<https://www.jica.go.jp/aboutoda/sdgs/index.html>



投資家の皆様へ

JICA債-社会貢献債のご紹介

<https://www.jica.go.jp/investor/index.html>



企業の皆様へ

中小企業・SDGsビジネス
支援事業のご紹介

https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/sme/index.html



教育現場の皆様へ

JICA地球ひろばのホームページで、
SDGsを学べる教材や冊子のPDF
データや動画を公開しています。学
校やセミナーなどでご活用ください。

<https://www.jica.go.jp/hiroba/teacher/material/sdgs.html>



JICA SDGs Action!

Twitterはこちら

<https://twitter.com/SdgsJica>

